

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市支所及び出張所設置条例
事業開始年度	平成17年度～		
総合計画	大項目 基本目標	06	健全で自立したまちづくり
	中項目 基本施策	01	簡素で効率的な行政運営
	小項目 施策	12	その他事務管理(財産管理)
事務事業名	03	吉永総合支所維持管理事業	
問	担当課(室)	吉永総合支所 窓口管理課	
合	職・氏名	参事 中田 直紀	
先	電話	84-2513	
	このシート作成に要した時間	4.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	職員及び来庁者	
目的(何のために)	吉永総合支所の適正な維持管理を行う	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	来庁者へのサービス及び職員の職場環境向上を図りながら支所維持管理費の節減に努める。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	庁舎維持管理業務	庁舎設置の維持管理、修繕	
	清掃業務	日常の清掃管理及び庁舎周辺の環境整備(花壇、植木等)	
	補修業務	庁舎建物、設備の修繕	
	共済業務	公用車・建物共済加入等手続き	
	工事業務	庁舎建物、設備等の工事	

決算額	事業費等	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績	
	直接事業費	千円	8,051	7,142	7,168	
	必要人員費	人件費	0.36人	2,983	0.28人	2,606
	事業費	千円	11,034	9,748	8,210	
	国庫支出金	千円				
受益者負担		48	48	48		
繰入金						
市債						
その他()						
一般財源		10,986	9,700	8,162		
受益者負担比率	%	0.4%	0.5%	0.6%		
結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績		
通常維持管理経費	説明					
結果指標量	m	1,332	1,332	1,332		
対前年比	%	-	100.0%	100.0%		
活動コスト	円	11,034,000	9,748,000	8,210,000		
単位当たりコスト		8,284	7,318	6,164		

事業の成果		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	年度				
	目標値(A)	5,000	5,000	5,000	5,000
	実績値(B)	6,044	5,362	4,516	到達目標値
㎡当たり維持管理コスト	達成率(B/A)	120.88%	107.24%	90.32%	5,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
通常維持管理コスト(直接事業費)					

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	光熱水費の節減に努め減少している。						

総合評価		総合評価
組織として必要な業務であり、概ね良好に実施できているが、経費節減に向けて継続して取り組む。	A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	今後も経費節減に向け継続して取り組む。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな

Check

Action